

事業名 CD	0104010201	健康増進事業（健康教育）	
細分化した事業名		水中教室事業	
事業担当課室 CD	200400	保健課	整理コート*

〈事務事業の位置づけ〉

第6次長期総合計画での目的体系	大項目	誰もが安心して暮らせるまちづくり	
	中項目	健康な暮らしを守る保健・医療の充実	
	小項目	健康づくりの推進	
関連する個別計画等	健康増進計画	根拠条例等	健康増進法
関連する事業	健康相談		

〈事務事業の概要〉

事業の目的 (何のためにするのか)	生活習慣病の予防及び介護を要する状態となることの予防その他健康に関する事項について、正しい知識の普及を図るとともに、適切な指導や支援を行うことにより「自らの健康は自らが守る」という認識と自覚を高め、健康の保持・増進に資する。 水中運動については、水の浮力を利用し膝や腰に過重な負担をかけずに、効率的な運動効果を得られるものである。
事業の対象 (誰・何を対象にするか)	全市民
これまでの改善経過	平成16年度～国保ヘルスアップ事業として市民課国保医療担当にて国民健康保険加入者を対象に無料で教室を開始 平成19年度10月より、ゆーぶる葦崎が指定管理となりキッツウエルネス主体による有料（1レッスン1100円）での教室が開始 平成21年4月より、温水プールを利用した市民の健康づくりを支援するため、市民の利用料を軽減し1回の利用料が500円（ワンコイン）となるようキッツウエルネスへ保健課より補助をしている
事業の手段 (どんなやり方(手法)で)	〈実施・運営方法〉 ■市 □委託 □補助金 □その他（ 0 ） 利用者1名あたり380円を実績に合わせて補助をする。 利用者の継続率・心身の効果や主観的健康観を評価する。
事業の成果 (どのような状態にしたのか) (どのような効果を得るのか)	水から受ける心身への効果を利用し、運動習慣の定着を図る。 自分の健康を保つための健康行動がとれる

〈投入費用及び従事職員の推移〉

		19年度	20年度	21年度
A	事業費 (千円)			769
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
	市債			
	その他			
	一般財源			769
B	担当職員数(非常勤 職員E) (人)			0.09
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	0	0	614
D	総事業費(A+C) (千円)		0	1,383
*参考	H21)市民1人当りの事業コスト	43 円	H21)市民1人当りの行政サービス費用	579,596 円

注1)担当職員数には、1年間に当該事業に携わった職員数(職員と非常勤嘱託職員を区分)を他事業と按分して記載してあります。
 注2)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、19年度(6,901千円)、20年度(6,909千円)、21年度(6,823千円)を使用しています。
 注3)一般財源とは使途の制限のない財源で、市税(市民税・固定資産税など)、地方交付税(市町村均衡を図るための交付金)などを言います。

〈事業を数字で分析〉 この欄では、事業の目指すべき方向を分りやすく示すため、数値指標を設定し実績数値を記入しています

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			19年度	20年度	21年度
活動指標	水中教室年間開催回数	開催回数(回)		285	245
	水中運動教室参加者数	参加者数(人)		2,479	2,664
成果指標	体調が良くなった(主観的健康評価、アンケート回答者のみ)	18人/20人(体調が良くなったと答えた者/アンケートを答えた教室継続利用者)			90.0%
	運動習慣が身についた(主観的健康評価、アンケート回答者のみ)	19人/20人(運動習慣が身についたと答えた者/アンケートを答えた教室継続利用者)			95.0%
効率指標	教室1回あたりのコスト	総事業費/開催回数(円) (1,383千円/245回)			5,644円
	参加者1人あたりのコスト	総事業費/参加者数(円) (1,383千円/2,664人)			519円

〈事業を自己評価〉

妥当性 (事業の手段・活動は妥当ですか)	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当である <input type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない キットウエルネスと協力し、市民の健康づくりのための場を提供している	
成果 (意図した成果が上がっていますか)	<input checked="" type="checkbox"/> A 上がっている <input type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない 水中運動の効果が徐々に住民へ周知され、若干ではあるが参加者が増加している	
効率性 (コストを見て効率的ですか)	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である <input type="checkbox"/> B ほぼ効率的である <input type="checkbox"/> C 効率的でない 市民の利用負担を減らし、ゆーぶるの利用者数を増やすためには必要なコストである	
総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成	
今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 重点化(コストを集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 手段の改善(実施主体や実施の手段を代える) <input type="checkbox"/> 効率化(結果単位あたりのコストを下げる) <input type="checkbox"/> 簡素化(事業の規模や内容を縮小する) <input type="checkbox"/> 統廃合(他の事業と統合する、または廃止する) <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり	
改善・改革案	改善・改革の概要・方向性(いつまでに、どういう形で具体化するのか)	
	(1) 中長期的 水中運動の効果を利用し、市民の健康維持・増進を図る	(2) 23年度 市民の健康づくりを支援していくためには、今後も利用しやすい環境となるよう指定管理者と協同していく
	(3) 22年度 補助を継続し、多くの住民に教室を体験してもらう	
21年度の改善計画	さらに多くの人に水中運動の効果を理解し、実践してもらえるように出前塾等健康教育の場面で水中運動の良さを伝えていく	
21年度の改善結果	多くの市民に水中運動を体験する場の提供ができた	
市民(地域)や民間、他官庁との役割分担(市民との協働の視点などから考えられること)	教室体験者が、地域の中で水中教室の体験を伝え、より多くの市民が教室へ参加し健康づくりができるよう声かけを行っていく	
課長所見	ゆーぶるの利用者を増やす目的で実施するのか、運動を通しての健康増進事業とするのか本年度検証し、次年度以降実施していくかどうか結論づけを行なう	